

CONTENTS

COMBAT

2014.Sep.
No.462

9

Cover Design
favorite graphics (tamao ito),
Cover Photo
Kunihisa Kobayashi
Model
BULL (治安警察)
©WORLD PHOTO PRESS 2014
※本文中の価格は消費税込みの
総額表示です。



【第1特集／ミリタリー】

006

CRYE PRECISION クライ・マニアックス

NY ブルックリン発のミリタリーブランド「CRYE PRECISION」。迷彩そのものからパンツ、シャツ、そして銃まで手がける新進気鋭のデザイン集団のコレクションを数回に分けて紹介する連続企画の第一弾。今回は幻のファーストモデルのほかコンバットパンツをメインに紹介。

026

世界最大級の軍事見本市 EUROSATORY 2014

●リポート:清谷信一 (Shinichi Kiyotani)

056

The Equipments of the U.S. Force [現用米軍装備カタログ] 第120回 ハートロック2014 海兵隊フォースリーコン 2004年 MOUT&CQB装備

●解説:松原隆 / TARO ●撮影:TARO / FK2 / 山崎 学

074

New Generation Styler GROM

●Fujiwara

085

Militaria Roundup! 復刻版 アメリカ陸軍軍装／ノルマンディ1944 Part.2

●解説:菊月俊之

136

月刊・自衛隊 につぼんのちからこぶ

●取材:菊池雅之

【第2特集／トイガン】

032

東京マルイ GAS BLOW BACK Smith & Wesson M&P 9

●Photos & Text by SHOTGUN MARCY

038

東京マルイ M870 Breacher 実射リポート!!

●Photos by Taku ●Text by Naoki Saitou

040

SHOEI Maschinengewehr 42 AEG

●Photos&Text by Taku

044

WESTERN ARMS M4A1 FULL METAL CUSTOM SNAKE CARBINE

●Photos & Text by SHOTGUN MARCY

050

WESTERN ARMS ミラー・カスタム〈コスタ Ver.〉

●Photos & Text by SHOTGUN MARCY

052

WESTERN ARMS WA創立40周年記念 アルティメット・コレクション コルト・ゴールドカップ・ナショナルマッチ

●Photos & Text by SHOTGUN MARCY

004

COMBAT FRONT LINE

066

Goods & Accessory

070

世界の兵士図鑑 安維持任務とスナッチ隊の装備 PHOTO:BRAZIL DOD

●イラスト・解説:坂本 明

084

サープラスいじり技術研究所

●写真・文:織本知之

096

PRESENT

130

トイガンニュース 130 WA ベレッタM92FS 〈タクティカル・センチュリオン〉 131 WA シグ・ザウエル1911 ブラックウォーター 〈バトル・ダメージ Ver.〉 132 タナカ M700ポリス AIR 〈エアー・コッキング・ガン〉

134

兵装嗜癖

●by Fujiwara

140

GEAR CUSTOM WORKSHOP PROJECT NINJA

●Tokyo Equipment Stupid

142

monoショップ新聞

184

中田商店グッズ

186

S&Grafグッズ

097

GAME OVER THE TOP

100

ふれんどりっファイヤー!

108

ミリタリー雑学講座

112

蛙のゆびさき (中山 蛙)

116

アメリカGUN事情 Guns Talk from US

118

戦車兵通信 WORLD OF TANKS

120

物欲ワンホール

ROUND 35:強い銃の条件“命中精度”!(後編)

トイガンズジャンクション

161

バックナンバーリスト

162

帰ってきた 狩野健一郎の[監督、そこにおっばいは必要ですか!]

164

レア・ミリタリー・テクノロジー

166

狩野健一郎のシネマ放浪記

167

狩野健一郎の新作DVD紹介

168

第74回 ザ・ビクトリーショー

169

A STITCH IN TIME

170

読んで覚える TakuのHOW TO Shooting 射撃のススメ

174

コンバットマガジン・インフォメーション・センター

175

読者プレゼント応募方法

176

編集後記





特集

CRYE MANIAC

PRECISION クライマニアック

Photo / 小林邦寿、油科康司 (WPP)、熊谷義久 (WPP)、U.S.Army
Text / Tomo Hasegawa、Kuroki、morizo、狩野健一郎 Model / ZIN (MMR)

1978年、シューズのミッドソールに空気袋を仕込んだナイキ。2001年、ハードディスクをそのまま音楽プレイヤーにしてしまったApple。目的のために非常識、といういちばんの近道(獣道)を開拓してきたメーカーはパイオニアとして歴史にその名を残す。ミリタリーにおけるパイオニアはいくつもあるが、「CRY PRECISION」は明らかにその先頭に行く。ミリタリー業界にこつぜんと現われ、装備界にデザイン革命を起こしたCRY(クライ)。現在進行形の装備革命をいまその目で確認してほしい。





軽量化されたプーマ歩兵戦闘車の最新軽量化型。装甲の一部、履帯などが軽量化されている。特にディール社が開発した新型履帯が履帯の重量を20～30%減らすことに成功した。

世界最大級の軍事見本市 EUROSATORY 2014

レポート：清谷信一 Shinichi Kiyotani



ディール社が発表したプーマ用の新型軽量履帯。クイック・フィット・バイヨネット方式により、履帯の装着がより迅速に行なえるようになり、またゴムパッドの交換も容易になったという。さらに振動や騒音も低減されているという。



今回展示された車輻では車輪部にスカートと、さらにその外側に格子型装甲が追加されていた。格子型装甲の横のバーには重量軽減のために穴開けられている。A400M輸送機はペイロードが低下したが、プーマ搭載時にはこれら一部の増加装甲を取り外して輸送されるとのことだ。

隔年で開催される世界最大規模の陸戦兵器・セキュリティの国際見本市、ユーロサトリが今年も6月16～20日、パリ郊外のノール・ヴィルバント見本市会場で行なわれた。

今回注目されたのが、初の日本パビリオンの出展だ。詳細は筆者連載の「レア・ミリタリー・テクノロジー」のレポートを参照して欲しい。メディア、ことに日本メディアの取材は多かった。連日のように日本パビリオンにテレビや新聞の記者が取材で詰めかけていた。

今回は1,054の出展者があり、展示面積は17万5,523㎡にも及んでいた。また5万5,770名のビジッターと172のオフィシャルデリゲーション（代表团）の訪問があった。まさにこの分野では世界最大の見本市である。ショーのサイズが年々拡大されており、ひとりですべてのブースをチェックすることが難しくなっている。

今回も多彩な陸戦兵器や、セキュリティ関連の装備が多く展示されていたが、特に地上用のUGV、ロボット兵器の展示に注目すべき新製品が多かった。

残念だったのが中国のノリンコ社のブースだ。最近の日中間の緊張が高まっているせいか、事実上の取材拒否。このような取材拒否は非常に幼稚であり、もっと成熟した広報体制を取って欲しいものだ。



日本パビリオン。この種の見本市で大々的に日本のパビリオンが出展されたのは初めてだ。



NECは自衛隊向けに開発したソフトウェア無線機の技術を用いたネットワーク型の防災用無線機を提案。



三菱重工が展示した自社開発装甲車「MAV (Mitsubishi Armored Vehicle)」の模型。陸上自衛隊向けに開発した機動戦闘車の技術やコンポーネントを多用し自社ベンチャーとして開発しているものだ。試作されたMAVはAPC（装甲兵員輸送）型で、全長が8m、全幅が2.98m（側面のスラット装甲、反応装甲含まず）、全高が2.2mで戦闘重量は最大で28t。エンジン出力は536馬力以上で、最高速度は100km/hだ。

帝人のブース。帝人は以前からこの手の見本市の常連で現地法人が運営しており、日本パビリオンには参加していなかった。



ミステリーランチは新型のハイドレーションカバーを発表。



試作の中型バックパックが多数展示されていた。左端のモデルはミステリーランチと同じY字型のスライドファスナーを採用している。



イスラエルのブラサンの新型の格子型（スラット）装甲「HSF（ハイブリッド・スラットフェンス）」。

しなやかな特殊なラバーで金属を包み込んだ構造で、重量は10～11kg/m。現在普及している鋼鉄製スラット・アーマーにくらべ80%軽量化されており、装着する装甲車の速度、機動力を損なわない。

TOKYO MARUI

●東京マルイ ☎03-3605-3312
http://www.tokyo-marui.co.jp/
●Photos & Text by Taku

GAS BLOW BACK Smith & Wesson M&P 9



とところどころにS&Wらしいデザインが
ちりばめられている。ファン待望の最新
ガスブローバックハンドガンの登場だ。

スミス&ウェッソン M&P 9

- 全長: 194mm
- 重量: 620g
- 装弾数: 25+1発
- 価格: 1万8144円

リボルバーメーカーの大御所、スミス&ウエッソンが製作した 珠玉のオートマティックがいよいよ登場!!

近頃はどのメーカーからもポリマーを使用したガンが製品化されており、あまり目新しさがなくなってきたように感じられる。ポリマーフレームを使用したオートマティックハンドガンの代表格といえば「GLOCK」シリーズだろう。それまではキワモノ的な存在だったポリマーフレームをスタンダードへと引き上げた功績は誰もが知るところだ。

確かにポリマーフレームをメジャーにしたのはグロック・シリーズだが、元祖なのかというとそうではない。では元祖は何なのか？ それはH&Kが1970年に発表した「VP70」だ。グロ

ック17の発表が1983年なので、それより10年以上も前に発表されているというから驚きだ。残念ながらVP70は時代が早過ぎたからなのか、グロック17が登場する前に製造中止となってしまったが、トイガンとして日本ではMGCとタニオ・コバで製品化しているので馴染み深い。

グロック17の登場は、それまで金属全盛だったガン業界にポリマーという新しいジャンルを確立した。他社でもこぞってポリマーを使用したガンの開発が行なわれるようになったことからそれが伺える。

ポリマーに使われる樹脂は、一般的

なプラスチックと基本的には変わらない。補強用のファイバー繊維を配合したり、柔軟性を持たせるなど、製造メーカーによって多少の違いはあるが、基本的なコンセプトは同じ。もちろん樹脂だけでは強度に不安があるため、耐久性の必要な部分には金属が封入されている。

S&W社では、1994年に同社初のポリマーフレーム・ハンドガン「SIGMA」を発表した。グロック・シリーズ同様、トリガーにセフティ機構を持つこのモデルは、後発ということもあり、グロックに非常に似通ったというかパクリに近いデザインであった。そのためグ

M4A1 FULL METAL CUSTOM SNAKE CARBINE



リアサイトはGGSG MADタイプの
BUIS。これまであまり見られなかった
新鮮なデザインのリア・サイトだ。



折り畳むと、引っかかりの少ない平面的なデザイン。サイドのノブでウィンデージ
の微調整ができる。

フレーム右側にWA純正を示す刻印が彫り込まれている。

フルメタル・ボディで登場するM4A1キャラクター・カスタム

ウエスタン アームズ (以下: WA) のM4A1フルメタル・カスタム・ニューシリーズに、メガヒットPCゲームの人気キャラクターを想定したキャラクター・モデル“スネーク・カービン”が登場する。このモデルは、先月発売されたニューシリーズ第1弾の“ナイツSR16”に続く第2弾。夏休みの目玉モデルが続々とリリースされるこの時期

だけに、WAでも気合の入った生産体制で臨んでいることが窺われる。

今年に入って、“SOPMODカービン”や“Mk18Mod0”と、矢つぎ早に人気モデルを限定再リリースしてきたWA。それにプラスして、ニューシリーズの登場と、M4ファンにとっては嬉しいながら、予算のやりくりを悩ませる状況が続いている。M4A1の発

売5周年を記念したM4A1海兵隊シリーズは、各種のアクセサリが標準装備され、しかも「記念特別価格」が設定されたお買い得シリーズ。通常価格で購入することを考えると、複数のコレクションは負担が重い、現時点ではまだ「記念特別価格」が維持されているので、買うなら「今でしょ!!」というか、「今しかないデショ」という状況

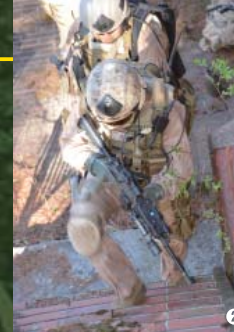


ハートロック2.0 フォースリーコン

Force Reconnaissance、通称：Force Recon（フォースリーコン）の2004～06年ドレスコードに従い、FR希望参加者全員の装備はFSBE2のキットより選ばれたものが装備されている。今回の作戦は市街地での戦闘“MOUT (Military Operations on Urban Terrain)”や接近戦闘術“CQB(Close Quarters Battle)”が想定されており、エントリーツールなどのドアや壁を爆破、窓を破って突入することが考えられるため、各隊員はポジションによりダイナミックエントリーなどが行なえる仕様で組まれている。現行の最新戦闘服FROGには難燃繊維ノーマックスが使用されているので、CWU-27/Pフライトスーツをあまり見かけなくなったが、当時の装備でノーマックスが使用されている戦闘服といえばCWU-27/Pを着用している。

ハートロック2.0フォースリーコン でエントリーした参加メンバー

①2004年～06年のアメリカ海兵隊武装偵察部隊 (United States Marine Corps)。②突入対象の建物脇の階段を駆け上がる。この後の、建物に突入し、CQBが展開される作戦であるため、銃には、近接戦闘に適したエイムポイント製COMP M2と、シュアファイヤ製M962が装着されている。③爆破により火に対する危険が考えられるため、戦闘服は全員が難燃性生地のCWU-27/P フライトスーツのTANカラーを着用している。(金鯱会メンバーのKouHey!氏)
④Allied Industries製MBSS (S/Mサイズ)を使用。(金鯱会のメンバーSG80氏)



【現用米軍
ハート
海兵隊
2004

装備カタログ] 第120回
ロック2014
フォースリーコン
年 MOUT&CQB装備

●解説: 松原隆 ●撮影: TARO / FK2 / 山崎 学
●協力: 金鯱会 (<http://fk2tarofan.web.fc2.com/gkw/top.htm>) /
TARO風呂 (<http://tarotaro.militaryblog.jp/>)
<http://tarotaro.militaryblog.jp/> /
FK2の独り言 道場2 (<http://fk2.blog51.fc2.com/>)
<http://fk2.blog51.fc2.com/> /
珍風呂 (<http://combat2525.blog.fc2.com/>)
<http://combat2525.blog.fc2.com/> /
ナグー伍長と愉快な仲間達
(<http://nagai1418.blog.fc2.com/>)
<http://nagai1418.blog.fc2.com/> /
Ayaのおだんご日記 (<http://aya1022.militaryblog.jp/>)
<http://aya1022.militaryblog.jp/>

The Equipments of the U.S. Force